

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第3回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・各分科会における審議の状況について

3 開催日時

令和5年6月20日（火）午後6時30分から午後8時15分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第3会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、
谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、丸山佳子、吉田 実（副会長）、吉田義昭、
渡邊康子、渡部忠行（欠席4名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

・会議の開会を宣言
・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

・挨拶

【渡邊係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・ 会議録の確認：藤田委員に依頼

次第 3 議題「(1) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」に入る。各分科会から説明する。

○観光分科会

【吉田副会長】

5月27日の春日山城跡周辺の視察について報告する。ルートは、愛宕谷公園からスタートし、駐車場等の整備状況を確認し、黒金門を經由して春日山神社境内に上がった。

愛宕谷公園は、ほとんど草地であり、活用されていない。春日山城跡保存整備促進協議会が地域活動支援事業で造った黒金門を通る道も、小さな看板があるだけで宣伝効果もなく、そういうところの反省を意見書にまとめたい。謙信公の銅像前から三の丸の下を通り、上正善寺や大手池の方へ下りる道があるが、今は通行止めになっている。そのような道の整備も含めて、車が通ることができれば便利だし、春日山の観光を考える上で、足の不自由な方への配慮にもなる。駐車スペースが無いので、循環ルートとしての活用につながると思う。

意見書については、去年からマスタープランを作っているので、ネタはもうあるが、例えば10件ぐらいの案件を個別の意見書にまとめた方がよいのか、一括でまとめた方がよいのか迷っている。それから、市の担当部署や町内会長のほか、他の団体との意見交換を行い仕上げていきたい。来月から意見書の作成に注力する。

【太田会長】

今の説明に意見、質問等はあるか。

【吉田副会長】

春日山城跡保存整備促進協議会による今後の歩道整備等に関し、地域独自の予算の活用予定はあるか。

【市川委員】

詳しい話はまだ出ていない。観光分科会でいろいろな団体と情報交換をすることになっている。

【吉田副会長】

とりあえず今は何もないということか。

【市川委員】

春日山城跡保存整備促進協議会では、今のところ具体的な話は出ていない。

これまで行ってきた木の伐採により日本海まで見通せるようになった。また、春日山旅館から寄贈された謙信公の銅像を神社の横に設置したと聞いている。あとは春日小学校の子どもたちと一緒に松葉かきを実施した。来月には 2 回目の草刈を実施する予定で、年間行事としては、今のところ草刈を 3 回実施する予定。地域独自の予算については今後の検討課題になっている。

【渡部委員】

来年度の地域独自の予算にはもう間に合わない。8 月末に締め切られる。地域協議会が事業提案しても実施団体でないため、意見書のレベルに留まってしまう。地域協議会でなく、春日山城跡保存整備促進協議会などの団体が提案しないと事業を実施できないので、団体の手伝いをしたいと思う。特に町内会長連絡協議会や春日山城跡保存整備促進協議会が頑張らないとなかなか予算がとれない。

【市川委員】

具体的な課題について役員で話をしている。これまで様々な整備をしてきたが、今は予算要求の話は出ていない。確かに団体から予算要求するのが筋かと思うが、そこまでの話をしていないのが現状。

【吉田義昭委員】

地域協議会と分科会の意見を踏まえて意見書をまとめることとしたと思うが、地域協議会の意見書ではなかなか通らないと思う。地域協議会として課題をまとめ、諸団体と意見交換を行い、ある程度道筋をつけたものを意見書として提出する流れが普通だと思う。

今日の会議では、27 日の現地視察に参加された委員の意見と吉田副会長のレポートを協議会にフィードバックし、意見をまとめていくというような、今後の進め方について話を聞けるものと思っていた。渡部委員が言われる地域独自の予算であれば、今研修を実施して、それが予算と結び付いてどうなるのかが見えない。そういう会議の進め方でよいのかと思い質問した。

【太田会長】

5 月 27 日の春日山城跡周辺視察で今後も整備が必要な部分を把握し、観光分科会で洗い出した案件について、春日山城跡保存整備促進協議会等の団体に相談して、実行

部隊としてやってもらった方がよいというようなところをまとめてもらう。情報交換がしっかりとできるのであれば、打合せの結果、今このように進んでいるという報告を受ける形にしてもらえればよいと思う。また観光分科会でも、27日の視察のまとめをしていただいて、春日区にあるいろいろな団体に課題を情報提供し、共有しながら取組を進めていければと思う。

【吉田副会長】

参加した委員の感想や反省については、事務局でまとめてもらっている。意見書の案は、次回以降の協議会に提出する。研修は委員のスキルアップを兼ねて行った。

【太田会長】

地域協議会は実行部隊ではない。コーディネーターとして、また春日区にあるいろいろな団体とのパイプ役であると考えていただきたい。様々な課題やテーマを見つけながら進めてもらえればと思う。

【谷委員】

私は一つの目的を持って視察に参加した。フラワーパーク構想は、身近なところで目に触れるよい取組だが、過去にも地域活動支援事業で花に投資した取組があった。それが今どうなっているか、関心を持って見てきた。業者任せで一度工事をしただけで、2、3年経ってなくなってしまった。管理運営する母体を意識して取り組む必要がある。長期的に取り組むための組織づくりも含めて構想を練っていかないと、言葉のやりとりだけで終わってしまう。投資の内容と現状を確認し、これらの反省を踏まえて進めていかないと、過去の事例がいきてこない。

空き地をフラワーパークにするのもよい。安塚区では、ヤナギバヒマワリを植える取組を行っている。まとまった場所でなくても、例えば空き地を多く所有する個人に苗を提供して育ててもらおうといった方法もあると思う。身近なところでの取組を考えてほしい。

【吉田副会長】

春日山城跡保存整備促進協議会では、地域活動支援事業で監物堀の南側の古道をウッドチップで舗装した。また、監物堀にカキツバタを植えたものの、雑草が生えてしまった。このほか、大手池のアジサイを植えた公園の整備状況など、フラワーパーク構想の現状は見てもらった。これからは違うアイデアを入れながら考えていく。

【太田会長】

ほかの課題や以前の事業の振り返りも必要と思う。

【田中副会長】

視察の感想について、集約した結果を教えてください。

【渡邊係長】

昨日意見が出揃ったところで、まだ皆さんから同意いただけていないので、今回は分科会にのみ集約した資料をお渡しする。皆さんの了承が得られたら、メール等で提供したい。

【太田会長】

集約は観光分科会で行い、必要な部分を地域協議会に示してもらおうという認識でよいか。

【渡部委員】

地域独自の予算事業では、今年度、春日山関係の取組がない。また来年もゼロになる可能性があり、何もできないで終わってしまう。我々は提案できないので、意見書を出して、事務局がそれを予算にしてくれればいいのだが難しい。

【吉田副会長】

以前、地域協議会と町内会長連絡協議会の各三役で意見交換した際は、古道整備等の事業を提案する意向はないとのことだった。謙信公祭の企画の検討等に力を入れたとのことだったので、あまり期待できないと思う。

【太田会長】

再来年の第100回謙信公祭に向けて準備を進めていくので、地域協議会も協力願う。

観光に関しては以上でよいか。

(発言なし)

○安全・安心分科会

【本多委員】

防災士会は、今年1月から防災士の方と月1回、懇談会を行ってきた。5月20日には春日支部の設立総会を開催し、議案も全て承認された。そして6月19日に研修を行い、あと2回ほど会議があると聞いている。地域協議会は開催準備の任を終えることになるが、要請があれば、協力していきたいと思う。

【太田会長】

安全・安心分科会に関して、質問、意見等はあるか。

【市川委員】

今回の春日支部設立について、ご協力いただき御礼申し上げます。無事、5月20日に総会が終わり、私が支部長となった。早速、6月19日に研修を行った。内容は、避難行動要支援者についてと、防災アドバイザーから防災士の活動に関してお話をいただいた。町内会長と防災士、35名の方から出席いただいた。研修後、各町内会長から非常によかった、1年に2回くらいやったらどうだというお話もいただいた。発足したばかりだが、今後の活動内容については、順次報告させていただきたいと思う。

【吉田副会長】

観光分科会では勉強会を3回行っている。他の分科会も勉強会を行ってはどうか。例えば安全・安心分科会なら、防災士やレクチャーを受けた人たちを先生にして、この地域の過去の災害の事例等について勉強会を企画してはどうか。

私は前の安全・安心分科会のリーダーだった際、過去の地震や水害を調べて、危険箇所を洗い出し意見書を提出した。分科会の委員だけではなく、地域協議会全体が防災についてスキルアップして欲しいという意味を込めて発言した。

【本多委員】

地域協議会の中の専門部会ということで安全・安心分科会の活動を行っている。協議会全体でやる必要があるのか。

【吉田副会長】

そのベースになる基礎知識を皆で共有してはどうか。

【吉田義昭委員】

この話はその他のところで審議すべきではないか。ほかの分科会に対して指示するのは違うと思う。

【吉田副会長】

残された活動期間で、各分科会は次に何を予定しているのか。協議会全体で学習するものがあればしてほしい。

【太田会長】

全体でスキルアップするのは非常に大事なことだが、今回の安全・安心分科会では、春日支部の設立に当たり、昔の水害の写真等を資料に用いながら地域連携の必要性を市にプレゼンした。研修とまではいかないものの、防災士会を立ち上げるためのプロセスなどを皆さんで共通認識してもらうために、情報提供もした。観光分科会の皆さ

んは、目に見える大きなスキルアップのための研修を行っていて、評価はするが、それを他の分科会も同じくというのは違うと思う。安全・安心の方も、この後、3月いっぱいまでまだ半年以上あるので、その中で次の課題等について、議論できるものがあれば、やっていけばよいと思う。

【吉田副会長】

強制でなく、お願いである。

【太田会長】

安全・安心に関しては以上でよいか。

(発言なし)

○福祉分科会

【吉田義昭委員】

6月11日、上越文化会館で「いきいき春日野ふれあいコンサート」が開催された。この取組を知ってもらうため、市長や市議会議員にも出席いただいた。多くの人たちにPRした効果があったと思う。去年の反省を踏まえて、様々工夫し実行されたと聞いている。詳細について、事務局の谷委員から報告していただく。

【谷委員】

この事業は、地域独自の予算で今年度、春日区で3件採択されたうちの1件である。市長を含め市の関係者、市議会議員の方に来場をお願いしてきた。今までになく多くの方に来ていただいた。

現場を見ていただくということは、言葉だけとは違って、雰囲気伝わる。何かやるにしても、参加することが大切である。春日地区の全19町内会長に案内を出した。また、テレビの放送の件も、来場できなかった方に見てもらいたいとの思いで回ってきた。その際、教えてくれてありがとう、見るよという言葉をお願いしたり、放送予定日を町内に回覧するよと言ってもらったりした。先日、貼ってあるビラを剥がしていたら、近所の方から励ましの声をいただいた。この取組が確実に地域に広がっているように思う。

また、地域独自の予算をもっと地域に広めるため、上越文化会館入口に設置した立て看板に「上越市地域独自の予算活用」という表示もした。春日野町内会の旗も一緒に立てた。地域に何とか理解してもらいたいとの思いで取り組んだ。

今年は、高志小学校が参加できないため、ほたる保育園にお願いしたところ、積極

的に参加してもらえなど、保育園から小・中学校、大学、社会人や高齢者まで、いろんな形で繋がっている活動である。

反省点は、受付で少し混乱があったこと。また、文化会館西口付近の分かりやすい動線の確保と、保育園の誘導も課題となった。人手が足りず、手順も悪かった。

地域の活動について知らない方が多い。情報提供が非常に大切だ。地域協議会の皆さんも、是非ともテレビ番組を見てほしい。どういう活動だったかわかると思う。

【吉田義昭委員】

我々としては、コンサートの知名度を上げること、最終的には春日地区のイベントとして定着させたい。昨年11月にお願いしたが、特別部会として形にできるかどうかをもう一度検討していただければと思っている。町内会長連絡協議会との懇談会を早めに設定し、町内会に応援を要請する会を設けてもらいたい。

【太田会長】

今まではいきいき春日野が中心となっていたが、今年度は実行委員会を立ち上げ、イベントを実施したと聞いている。町内会長連絡協議会への呼びかけも大事であり、新しいメンバーで運営母体を作れたのは一つの成果だと思っている。

ほかに意見はあるか。

【吉田副会長】

私は久比岐野合唱連盟の構成メンバーだが、参加団体が自主的に実行委員会を組織して計画・運営するのは非常に素晴らしいと思う。この地域には、合唱の団体がたくさんあるので、子どもたちにもよい影響があると思う。いずれは、いきいき春日野のように、メンバーがその実施母体になればと思う。

【谷委員】

中学校からの部活動に関する要望を踏まえ、来年は6月15日の土曜日に開催する。会場も確保した。それに向けて進んでいく。

【太田会長】

ほかに意見はあるか。

【渡部委員】

防災士会春日支部は、うまく機能してもらいたいと思う。そこで提案が一つある。高齢者の一人暮らしが多く、例えば町内会の地図には亡くなったご主人の名前が表示されているなどの問題がある。最近、粗暴な事件が多く、不安になっている。何かよ

い提案はないか。

【本多委員】

地域協議会として、新しい組織の中で何ができるのだろうか。わからない。

【太田会長】

一人暮らしの高齢者には配慮が必要だ。春日支部の設立に向けた勉強会の時も、防災士の方から、一人暮らしの方の支援や把握は大変だが、そこは何とかしなければならぬという話があった。防災士会も同様の認識だと思うが、そちらに任せるのではなく、両方に関わっている地域協議会委員が情報をつないでいくものだと思っている。情報提供、情報共有は大切であり、関係性を保っていきたいと思う。

福祉分科会では、高齢者のことも課題として考えていかなければならないと思う。何をやるのか難しいところだが、3月まで9か月ある。各部会でそのような話題も検討してもらえればと思う。

【谷委員】

地域協議会は実行部隊でない。私たちができることは、元気な高齢者や介護が必要な方の把握と、どの程度まで仲介に関わるべきか考えることだと思う。町内会長だけでなく、地域協議会の皆さんからもせつかくある制度を活用することを考えてもらいたい。大勢で呼びかければそれだけ範囲が広がる。少しは手をかけてやってもらいたい。我々は仲介するだけで何もできないと括ってしまうと何もできない。それぞれの分科会でやっていくという姿勢を会長から呼びかけてもらいたいと思う。

【太田会長】

各分科会で話し合い、問いかけていただければ、委員の中で対応策を知っている方はいると思う。皆さんでいろいろ知恵を出して、やっていければと思う。

【吉田義昭委員】

介護、一人住まい、防災などは全て町内会で対応するが、今の町内会は体制ができておらず、全部引き受けられない。市はそこを支援するための仕組みを作るのか。社会的に行政の制度はあるが、日常面倒を見るのは町内会になる。そういう仕組みを作るには、そのための組織を作らなければならない。町内会でお金も人材を育てる講習も行う。そういうのが大きな流れだと思う。

地域協議会では、情報を収集し、他の地域を参考に仕組みを作ればよい。意見を持ち寄って、委員の知識レベルを上げ、ディスカッションをしないことには前に進まな

いと思う。

【本多委員】

基本的に、各町内の民生委員が高齢者のことを担当している。話し合うのはいいが、組織にそういう方がいることを理解した上で話をしないといけないと思う。

【太田会長】

一番大事なところは、町内との連携だと思う。各分科会の勉強会も検討してみてもどうか。

【吉田副会長】

春日区では、高齢者の交流の場づくりとして、社会福祉協議会が春日謙信交流館で月に1・2回、サロンを開催している。足の悪い方は謙信交流館まで行けないが、町内会館なら行ける。福祉分科会で、いきいき春日野の活動に係る研修を計画し、地域協議会全体で勉強に行き、それを各町内に持ち帰って活動の参考にするのはどうか。

【丸山委員】

岩木の町内会館では健康講座があり、春日区の地域協議会委員でもある渡邊さんが指導されている。市職員から健康づくりや認知症の話があった後、渡邊さんの指導で、運動したり、歌ったりして、楽しく充実した時間を過ごしている。

【谷委員】

いきいき春日野の活動を写真帳にまとめ、いつでも見せられるようにしている。関心を寄せてくれる町内会長のところへ出向き、具体的に説明している。

【太田会長】

全体を通して意見はあるか。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」を終了する。

次に、次第3 議題「(2) その他」に入る。

前回の協議会で吉田義昭委員から提案のあった藤巻新駅設置について、正副会長・事務局預かりとさせていただいた。先般、事前打合せの際にこの件について協議を行った。総合的に判断し、この案件は、地域協議会として、自主的審議のテーマとして取り上げることを今回は見送るという結論を出したことを報告する。

また、各分科会においても、残りの任期も9 か月ほどということで、その中で少し

でも何か成果が残せるような、また今も審議途中のテーマがあると思う。議論を深めていただきたい。前回の会議で、吉田義昭委員から提供された資料については、協議会の審議とは別に、委員の情報交換の資料として使っただけだったと思う。

ほかに意見はあるか。

【吉田義昭委員】

私は一つの案として資料を事務局に送り、内容について事務局と三役から検討してもらえた。発想が浮かんでも、ある程度情報がないと前に進めないため、今回は検討に必要な7項目について調査依頼した。皆さんには、こういう考え方でいろいろ調べたことに対して、そういう対応だったなと理解していただければ結構だ。あとは事務局から問い合わせた7項目について、わかる範囲で情報を教えていただき、さらに私の方でその可能性があるのなら、今度は協議会で審議するという進め方をしたいと考えていることを認識していただきたいと思う。

【太田会長】

この件について何かあるか。

(発言なし)

今後のスケジュールについて事務局に説明を依頼する。

【渡邊係長】

- ・今後の審議のスケジュールの確認について説明

【太田会長】

町内会長連絡協議会との意見交換会に関し、昨年の反省点として、19の町内会長から発言していただくにも時間の制約があるし、発言の得手不得手もある。その後、こちらから3分科会の事業予定等を説明し、さらに各三役による意見交換も実施した。

提案だが、いきなり19の町内会長から集まっていたのではなく、まずは三役同士による近況報告から始めてはどうかと考えている。その際、地域協議会からは3分科会の状況について事前に資料を配布し、情報共有をした上で、意見交換を行うこととしたい。二段階形式でまず三役同士の意見交換を行い、その後、全体会を開くということだがどうか。

【吉田義昭委員】

協議会からは三役と各分科会のリーダーがよいと思う。町内会は関連する役員に参加していただく形で討議したい。分科会についても資料を作って、やりたいことを定

めて話し合うという形で進めた方がよいと思う。

【太田会長】

町内会長連絡協議会からは会長と関係部会などの代表、こちらからは三役と各分科会のリーダーが出席する。事前の情報交換・情報共有を行い、その後全体会を行う形でどうか。開催時期は、謙信公祭前は町内会長も準備が大変だと思うので、9月に入ってから三役と各分科会リーダーとの事前打ち合わせをする、全体会での意見交換会は11月ぐらいを目途とし、意見書のたたき台を準備し、町内会長からも確認していただく。そして、年度内には意見書を春日区地域協議会として提出できるような進め方でいきたいと思う。状況によって変更する部分が出てくると思うが、今のところ、第4四半期までのスケジュールはこの形でいければと思う。よろしいか。

(よしの声)

進めていく中で変更等々があれば都度、報告させていただく。

ほかに意見はあるか。

(発言なし)

以上で次第3議題「(3) その他」を終了する。

次に、次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局から説明を求める。

【渡邊係長】

- ・ 次回の協議会について説明
 - 日程調整 —
- ・ 次回の地域協議会：7月18日（火）午後6時30分から 上越市市民プラザ（予定）
- ・ 内容：（自主的審議事項）各分科会における審議の状況について
- ・ 8月の協議会の日程変更の依頼

【太田会長】

以上で次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次に、次第4「その他」の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【吉田義昭委員】

事務局に依頼。年間予定表の実績になったところに日付を記載してほしい。

【渡邊係長】

今後、毎回こちらの方のスケジュールを直して皆さんにお示しした方がよいか。

【太田会長】

今回第1四半期6月のところで、実施もいくつかあったところなので、今度第2四半期の終わる9月ぐらいにまとめて出していただいで、実施に行ったものに日付を記載するという事どうか。

(よしの声)

【渡邊係長】

四半期ごとに示すこととする。

【太田会長】

・会議の閉会を宣言

※閉会后、必要な分科会のみ、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。